

広報 たいとう

令和5(2023)年

2月20日

No.1319

毎月5日・20日発行

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

SDGs(持続可能な開発目標)とは、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指す国際目標です。台東区はSDGsを支援しています。

令和5年度

予算案がまとまりました

予算総額は1,584億9,488万円(前年度比3.9%増)、**一般会計は1,117億円**(前年度比5.5%増)になりました。予算案は、2月16日から開会している令和5年第1回区議会定例会で審議されています。

主な事業を下記でご紹介します(金額は千円単位を四捨五入)



緊急経済対策

4年度に実施した緊急経済対策事業の一部について、5年度も引き続き実施します。

■給食食材等緊急支援 7億218万円

保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てできる環境を確保するため、給食食材・給食費の支援を継続

■ベビーシッターによる 一時預かり利用支援 1億522万円

リフレッシュ等を必要とする保護者に対して、ベビーシッター利用料の一部を支援



まちづくり

上野駅周辺の潜在力を最大限に引き出す先導的な取り組みや谷中地区の特徴的な景観を活かしたまちづくりを推進します。

■東上野四・五丁目地区まちづくり推進 3億1,489万円

旧下谷小学校跡地と上野警察署の土地の入れ換えなど、段階的なまちづくりを推進

■谷中地区まちづくり推進 1億4,394万円

朝倉彫塑館通り沿道に街なみ環境整備事業を導入し、国の登録有形文化財「すぺーす小倉屋」の活用などを検討



福祉

施設整備に加えて、医療的ケア児への支援などを実施します。

■医療的ケア児支援 3,531万円

医療的ケアを必要とする児童・生徒が安心して、区立学校等で生活できるよう、看護師を配置し適切な支援を実施



■たいとう第三福祉作業所等改築 3億2,750万円

福祉作業所と知的障害者グループホームが併設する施設を改築し、障害者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、グループホームの入居定員を4人から10人に拡大



文化・観光・産業

コロナ禍で困っている中小企業への支援とともに、施設のリニューアルや今後の観光施策に向けた取り組みを行っていきます。

■下町風俗資料館のリニューアル 5億6,989万円

(債務負担行為 5億6,928万円(令和5~6年度))
文化施設としての魅力を向上させるため、設備全般および展示内容等を更新

■観光統計・マーケティング調査 795万円

今後の観光施策に活かすため、各種ビッグデータや観光庁の調査データなどを活用し、観光客数の推移や観光客のニーズなどを把握



■利子及び信用保証料補助 12億5,808万円

区内中小企業の区制度融資に係る返済の負担を軽減するため、4年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策借換特別資金及び経営安定化借換特別資金を実施



教育

これからの時代にふさわしい教育環境およびスポーツ環境を整備します。

■こどもクラブ運営・整備助成/放課後子供教室運営(子供の居場所づくり) 11億9,954万円

児童の放課後の居場所づくりを推進するため、新たに民設こどもクラブを誘致・放課後子供教室の実施校を拡大



■リバーサイドスポーツセンター陸上競技場大規模改修 605万円

(債務負担行為 9,831万円(令和5~6年度))

バリアフリー化や熱中症対策として、観覧席への屋根設置など、区民ニーズへの対応に向けた設計を実施



子育て

コロナ禍で影響を受けている子育て世帯への支援を実施します。

■子ども医療費助成 8億4,767万円

所得制限を設けずに、対象を高校生等まで拡大し、医療費の自己負担額の全額を助成

予算案の内訳は
2面へ

